

ティンクルなごや通信

| | |
|------------------------------------|-----|
| みんなが笑顔で過ごせるように～療育部長着任のごあいさつ～ | 1 |
| 日中活動紹介 | 2-3 |
| 地域との防災活動を通じて築く「つながり」 | 4 |

名古屋市重症心身障害児者施設
ティンクルなごや
指定管理者 社会福祉法人むつみ福祉会
名古屋市北区平手町1丁目1番地の5
TEL: 052-916-0333

第14号
2023年7月

みんなが笑顔で過ごせるように 療育部長着任のごあいさつ

療育部長 小沢 信義

開設から9年目を迎え、このたび4月1日から療育部長を務めさせていただいております。

まだ女性看護師が看護婦と呼ばれていたころ、名古屋市立の看護学校を卒業して、名古屋市の市民病院で初めて男性看護師(※)として採用され、緑市民病院、東部医療センターと病棟勤務に携わっておりました。病院では、急性期、慢性期と経験し、自分の看護が病院だけでなく、福祉の分野でも活かされないかと思っておりました。名古屋市初の重症心身障害児者施設ができることを知り、開設当初からティンクルなごやで、看護師として従事することになりました。言葉がなかなか発せられず、サインで訴えている方、呼吸や栄養管理など医療的ケアを必要とする利用者さんのケアは、とても難しい反面、とてもやりがいのある仕事であると感じています。

看護や生活支援は、やりがいがある反面、利用者さんの安全、感染予防などを考えつつ行う責任が重い仕事でもあります。利用者さんのケアには、人の力が必要です。重症心身障害の利用者さんをケアするのは難しく、習得するには時間がかかります。職員自身の生活もあり、自身の病気、育児や親の介護、家族の転勤など様々な理由で職場を離れざるを得ない職員もいます。そのようなことができる限りないように施設として、例えば、親の介護や自身の病気治療に対しても休暇、休業が取得できる体制や、安心して出産・子育てができる環境、仕事と生活の調和が図れるような勤務体制を整えるよう努めています。育児休業後は育児短時間制度を利用して職場復職をする職員もいます。ワークライフバランス（生活と仕事の両立）を充実さ

せることで、やりがいを持ってティンクルなごやで仕事を継続でき、療育活動、看護などのスキルアップができるように努めたいと思います。

また療育活動の工夫や看護、生活支援の改善を通して、笑顔で、お互いを助け合える職場作りを推進したいと思います。皆で経験を積み重ねていくことで職員の自己成長をすすめて、利用者さんの生活がより豊かなものになることにつなげたいと考えています。

当施設は、「最も弱いものをひとりももれなく守る」という全国重症心身障害児（者）を守る会の基本原則を理念としています。長期入所者、短期入所者を支えるため、看護師、生活支援員など療育部だけでなく、施設全体の職員が利用者さんの生活を有意義に楽しく過ごせるよう連携に努めたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、利用者さん、保護者の方々には、多大なご不便をおかけしております。政府は新型コロナウイルス感染症をインフルエンザ感染症と同じ分類としました。社会は以前のような賑わいを見せています。まだ完全に収束はしていませんが、社会の風潮も踏まえつつ感染防止のため対策に努めてまいります。

一人一人に寄り添うことから、その方に合った幸せの形を作る支援を行ってまいります。よろしく願いいたします。

※「保健師助産師看護師法」に法律名が改められる以前の男性看護師の名称です。



屋上庭園

2階フロアは屋上庭園に隣接しています。外出制限がされている今、屋上庭園は利用者さんにとって外の世界を身近に感じる貴重な場所の一つです。晴れた日には日の光の眩しさ、曇りの日には吹き抜ける風、温かさや涼しさを肌身で感じながら日々を過ごされています。天気が悪い日でも庭園に雨が激しく降りこむ様子を見て「梅雨がきましたね」などお声掛けをすることで季節を感じるツールの一つにもなっています。

日中活動でも屋上庭園は欠かせない場所であり、シャボン玉遊びなど外でしかできない活動をはじめ、普段は室内で行っている楽器遊びやふれあい体操を外で行うこともあります。日中活動以外でも気分転換に帽子を被って外へ出てみたりするだけでも利用者さんは普段とは違う変化を敏感に感じ取り、険しかった表情が穏やかになったり笑ったりといろいろな表情をみせてくださいます。目から入る情報はもちろん、耳から聞こえてくる音にはスタッフが「すぐ近くで鳥の鳴き声が聞こえますね」「飛行機が飛んできましたね」とお伝えすることで、普段聞きなれない音にも安心して過ごしていただけるようお手伝いさせていただいています。

春には鯉のぼりが飾られ、夏には打ち水をするなど、屋上庭園の季節に合わせた新しい楽しみ方が増えています。今後も日々の生活を通して穏やかに過ごしていただけるよう、スタッフ一同お手伝いさせていただきます。

植松 瞳 (2階 生活支援員)



味と香りで楽しむ季節のうつろい

3年前のティンクルなごや通信(第7号)でもお伝えしましたが、3階東フロアの味覚体験は季節を感じられるものや、味覚のバリエーションを増やすなど現在も継続し、日中活動の一つとして積極的に行っています。

今春はいちご狩り、お花見などをイメージしながら楽しめるように、イチゴジャムや桜茶で味覚体験を行いました。夏には冷たい感覚も体験できる、かき氷やアイスクリームでの味覚体験を予定しています。アイスクリームは甘さだけではなく、多様なフレーバーを楽しむことができるので、利用者さんに喜んでいただ

けると思います。

また、香りは味の感じ方を強める作用があるといわれ、味覚体験と香りを同時に楽しめるようにしています。

香りは温めると拡散されやすくなり、より利用者さんに香りが届きやすくなるため、味覚用と香り用の材料の温度を変えるとといった工夫もしています。食事を召し上がることが難しい利用者さんにも、こうした様々な工夫をすることで、旬の味覚を楽しんでいただいています。

浅井 香帆 (3階東 生活支援員)

今年はお花見ができました

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ3年間は外に出てのお花見はできませんでしたが、今年は日中活動の時間を使って、2人ずつウエルネスガーデンへお花見に出掛けました。

「お花見に行きますよ」と伝えて準備をしていると、利用者さんたちは出発を待つ間、嬉しそうな声を出されたり、そわそわされていました。ウエルネスガーデンには桜の他にもたくさんの花が咲いていました。

「お花が咲いていますね。きれいですよ」と話しかけると花の方を見られ、桜の木の前で写真を撮影する時は、皆さん満面の笑みを見せてくださいました。

やっぱり外に出て風にあたるのは良いですね。春の風を頬に受けて、皆さんとっても気持ちよさそうにされていました。来年は、もっと大人数と一緒にお花見ができると良いですね。

葛谷 秀美（3階西 生活支援員）



地域との防災活動を通じて築く「つながり」

ティンクルなごややクオリティライフ21城北というエリアの中にあり、エリア内には他に西部医療センター、陽子線医療センター、ウエルネスガーデンがあります。ウエルネスガーデンの南側には、地元金城学区の消防団詰所があります。

近年、全国で地震や水害なども多く発生しています。この地域でも大災害が起こってしまった場合、それぞれの役割を果たしていかなければいけません。近隣の施設の状況をお互いに理解して、協力し合い、助け合いながら復旧させていかなければなりません。

ここで大切になることが「つながり」だと思います。ここ数年、この地域では大きな災害はありませんが、日頃から近隣の施設などと「つながり」を深くすればいざという時、迅速に協力し合えると思います。

3月11日、ティンクルなごやでは初めて地域の方と合同で防災訓練を行いました。この訓練は、北消防署を通じて金城消防団の団員さんに相談をしたところ、快く協力していただき実現しました。事前に訓練内容や必要な備品などを考えてくださり、当日も早くからお集まりいただき、施設の様子も興味深くご覧いただいていたいました。

訓練は水のうの積み方訓練、消火器の使用訓練、

毛布と物干し竿で作った担架を使用してみる訓練を行いました。当日は、ティンクルなごやの保護者会役員さんや、施設内1階にある名古屋北歯科保健医療センターの職員さん、北消防署の隊員さんも参加していただきました。

6月4日には金城小学校で金城学区のみなさんが集まる防災訓練にティンクルなごやの職員が参加させていただきました。当日はとても多くの方々が集まっていて、起震車や救助活動の訓練などを行いました。起震車に乗り、実際の揺れを体験すると自分が思っている以上に揺れて、家具の転倒防止がどれだけ大切かを知ることができました。救助活動は負傷者への声掛けが大切だということなども教えていただき、とても良い体験になりました。そして、一緒に訓練を行うことで、ティンクルなごやのことを地域の方々に知っていただくことができ、職員は地域の方と直接お話しすることができ、とても良い機会になりました。

これからも地域との交流を深め、「つながり」を大切にしていきたいと思っています。

田島 佑一（事務職員）



■公共交通機関でお越しの方

○栄より／市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車

○名古屋駅より／市バス名駅13系統「又穂住宅東」

／市バス名駅15系統「城見通二丁目」または「西部医療センター」下車

■お車でのお越しの方 「黒川」出口から約10分です。



名古屋市重症心身障害児者施設

〒462-0057

名古屋市北区平手町1丁目1番地の5

TEL: 052-916-0333

（指定管理者）社会福祉法人 むつみ福祉会

FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<https://twinkle-nagoya.com>



高度介護施設認定施設